

2025年度獣医疫学会総会

2025年3月9日（日） 13：20～13：50

対面とオンラインによるハイブリッド開催

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - 1) 2024年度事業報告（案）
 - 2) 2024年度決算（案）及び監査報告
 - 3) 獣医疫学会第15期役員（案）
 - 4) 2025年度事業計画（案）
 - 5) 2025年度予算（案）
 - 6) 獣医疫学雑誌投稿規定の改正
 - 7) その他
5. 議長解任
6. その他
7. 閉会

2024年度 獣医疫学会 事業報告（案）

1. 会員数（2025年1月31日現在）

正 会 員：270名

学 生 会 員：33名

賛 助 会 員：7社

雑誌購入団体：4団体

2. 会議

1) 総会

日時：2024年3月17日

場所：対面とオンラインのハイブリット開催

2) 担当理事・幹事会

第1回 2024年5月11日（オンライン開催）

第2回 2024年8月31日（オンライン開催）

第3回 2024年12月1日（オンライン開催）

第4回 2025年2月16日（オンライン開催）

3. 機関誌「獣医疫学雑誌」の発行

第28巻第1号（2024年7月発行） 380部

第28巻第2号（2024年12月発行） 380部

4. 学術集会の開催

第63回獣医疫学会学術集会

日時：2024年3月17日（日） 9:00-17:00

場所：対面とオンラインのハイブリット開催

セミナー「それって「疫学」じゃないですか?！」

座長：山本健久（農研機構動物衛生研究部門）

講演1. ヨーネ病の防疫対応における疫学の活用

榊原 伸一 先生（北海道 石狩家畜衛生保健所）

講演2. 鹿児島県での高病原性鳥インフルエンザの局所的流行に関する空間解析と発生要因に関する一考察

岩本 滋郎 先生（鹿児島県 始良家畜保健衛生所）

講演3. 肉用名古屋コーチンにおけるワクチンの飲水投与方法改善への取り組み

吉田 愛実 先生（愛知県 東部家畜保健衛生所）

講演4. 茨城県におけるBLV病原性分類とBola-DRB3遺伝子型解析に関する調査成績

藤井 勇紀 先生（茨城県 農林水産部畜産課）

第64回獣医疫学会学術集会

日時：2024年8月31日（土） 14:00-17:00

場所：オンライン開催

シンポジウム「牛伝染性リンパ腫について～疾病の概要と対応の現在地～」

座長：山本健久（農研機構動物衛生研究部門）

小林朋子（東京農業大学）

講演 1．牛伝染性リンパ腫とは

村上 賢二 先生（岩手大学大学院獣医学研究科）

講演 2．牛伝染性リンパ腫の現状と発症予測法

今内 覚 先生（北海道大学大学院獣医学研究院）

講演 3．宮城県における肉用牛に対する EBL の対策と課題

松田 敬一 先生（宮城県農業共済組合）

講演 4．プロウイルス量を使った繁殖農場での BLV 対策と課題

目堅 博久 先生（宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター）

5. その他

1) 「獣医疫学情報」の配信

55 通を配信

2) ホームページの維持・更新

集会申込フォームの改善

3) 優秀論文および優秀発表の表彰

過去 1 年の獣医疫学雑誌に掲載された論文のうち 1 報を優秀論文賞として表彰

第 63 回学術集会の一般演題より学生優秀発表賞 2 題と若手優秀発表賞 1 題を選出し、表彰

4) ワークショップの開催

第 7 回テクニカルワークショップ（2024/8/6-8、酪農学園大）を開催

5) 財政改善の取り組み

未納分の年会費納入を呼びかけ

6) 獣医疫学雑誌への投稿論文数増加に向けた取り組み

投稿相談受付窓口を運用、ML 上で投稿の呼びかけ

7) 海外研究者から機関紙への投稿論文審査体制に関する取り組み

Impact Factor 取得・Web of Science 登録等要件の調査、投稿料等送金に関する調査

8) その他

法人化に関する情報収集を継続

事務局運営体制の改善の検討

役員会は原則として Web 会議システム下で実施中

以上

獣医疫学会 第15期役員（案）

会長

井上 智（感染研）

副会長

蒔田浩平（酪農大） 山本健久（農研機構）

理事（五十音順）

青木博史（日獣大）	磯田典和（北大）	大松 勉（農工大）
木村祐哉（ヤマザキ大）	小林創太（農研機構）	佐々木羊介（明治大）
杉浦勝明（日生研）	関口 敏（宮崎大）	筒井俊之（立命館大）
芳賀 猛（東大院）	堀田明豊（感染研）	

監事（五十音順）

尼崎 肇（危機対応獣医協会） 中田 健（酪農大）

幹事（五十音順）

浅倉真吾（道総研）	林 昌宏（感染研）	氏家 誠（日獣大）
浦辺真帆（WOAH 東京）	太田奈保美（岡山理大）	大森亮介（北大）
岡谷友三 Alexandre（麻布大）		加藤卓也（日獣大）
門脇 弾（ホクリョウ）	菊池允人（千葉共済）	桑田桂輔（岐阜県家保）
小林朋子（東農大）	榊原伸一（北海道家保）	住吉俊亮（日本大）
田中亜紀（日獣大）	畠山 薫（芝浦食検）	早山陽子（農研機構）
原田和記（鳥取大）	松山亮太（酪農大）	山口英美（農研機構）
李 謙一（感染研）		

2025年度 獣医疫学会 事業計画（案）

1. 会議

1) 総会

日時：2025年3月9日（日） 13：20－13：50

場所：対面とオンラインによるハイブリッド開催

2) 担当理事・幹事会

年4-5回を予定

2. 機関誌「獣医疫学雑誌」の発行

第29巻第1号（2025年7月）、第29巻第2号（2025年12月）を発行予定（各380部）

3. 学術集会の開催

年2回程度を予定

4. その他

1) 「獣医疫学情報」の配信

2) ホームページの維持・更新

3) 会員拡大への取り組み

4) 優秀論文および優秀発表の表彰

5) ワークショップの開催

6) セミナーの開催

7) 獣医疫学雑誌への投稿論文数増加に向けた取り組み

8) 海外研究者から機関紙への投稿論文審査体制に関する取り組み

9) 事務局運営体制の効率化・改善

以上

獣医疫学雑誌投稿規定 改正（案）

以下のとおり，獣医疫学雑誌投稿規定の改正を提案する。

1．第2条第1項の掲載料に関する規定の改正

改正（案）	現在
（途中，省略） 2．掲載料を次のとおり定める。 1）筆頭著者又は連絡責任著者が獣医疫学会の会員である場合，掲載料は無料とする。但し，本学会で特別に認めた場合，並びに本学会が依頼した総説及び記事等の場合は，掲載料を無料とする。 （以下，省略） （以上）	（途中，省略） 2．掲載料を次のとおり定める。 1）筆頭著者が獣医疫学会の会員である場合，掲載料は無料とする。但し，本学会で特別に認めた場合，並びに本学会が依頼した総説及び記事等の場合は，掲載料を無料とする。 （以下，省略） （以上）